

## 8月1日水環境ひろば NPO セッション全体討議

**コーディネーター** 各発表に対して質問の時間が取れなかったので、まず、質問を受けたいと思うが……。

**質問1** 河川敷でペットボトルの散乱と回収の写真があったが、さらに今後の展開は考えているのか。

**荒川クリーンエイド・フォーラム** プラスチックチックごみを拾う活動だけでなく、この問題は最終的に自分に返ってくるというような啓発を行っていくことが重要と考えている。

**質問2** 川ごみの調査活動を行っていたが、どのように仕分けして回収したのか。

**荒川クリーンエイド・フォーラム** 41品目のごみについて数を数え、それを自治体が定める分別方法に従って分別したものを回収に出している。荒川の河口から30km圏内の河川敷の清掃補助という業務を国から事業委託して活動している。

**質問3** 奥田さんへの質問だが、NPOの協働作業の重要性について、お互いを尊重するというだけではなかなか前へ進まないと思うが、具体的にはどうすればいいか。

**奥田** 市民科学というのは、アカデミズムとか科学的検証が不十分とみられがちで、行政とNPOが対等の立場で必ずしもみられていない。しかし、行政とNPOが連携してパートナーシップに基づき対等な立場で活動していけるような状況になるのが好ましいと考えている。

**質問4** 河川へのEM団子投入について、全国的な調査は行われていないのか。

**戸田の川を考える会** EM団子はEM培養液などと同様のEM資材であるが、全国的な調査は実施していないし、データもない。7～8年前に埼玉県内84市町村すべてにアンケート調査を行い、17市町村でEM資材を扱ったことがあるとの回答があった。現在は扱っているところはないが、戸田市だけは継続されている。

皇居のお堀で EM の投入をやりたいとの要望が EM 団体から環境省水環境課へ出されたが許可されなかった。

平成 8 年頃に埼玉県川口市で EM 活動を推進する研修会があった。私はその時に講演会に参加したが、講演を聞いて EM を河川等に投入することは、私たちが普段行っている米のとき汁や糖蜜を川に流さない活動をないがしろにする良くないことであると直感的に判断した。

**コーディネーター** 市民科学とは何かということでご意見を頂戴したい。

**意見 1** 市民レベルで集めたデータをまとめて、公表していくことかなと思う。

**意見 2** 何のための科学かという問題意識を持ち、市民活動をしていくことかなと思う。

**意見 3** 海外ではシチズンサイエンスという言葉があるが、日本では市民環境科学、市民が自分で調査活動をして、それを公表し意見交換の場を持つことかなと思う。

**意見 4** 市民が河川の魚の調査を行う場合には、外来種も入ってきており、学者にも調査に加わってもらうことがある。このように、学者と連携したり、さらに行政とも連携していくような活動になってきている。

**意見 5** 三重で行われた G7 サミット後、海岸漂流物の清掃に国家予算がつくことになったが、海岸線を持つ県だけでなく、河川を通じて漂流物になることもあるので、内陸県の河川ごみ回収にも予算が支出された。このような行政を動かした活動に市民科学が役立っている。

**意見 6** プラスチックごみについて、ヨーロッパではプラスチックの再使用が前提になっているが、日本やアジアでは使い捨てが前提になっており、プラスチック原料も異なる。プラスチックごみが発生しないような製造者責任が日本では求められるのではないかな。